

●/人 広報



主な話題

園芸市開催
北海道酪農協会西胆振支部定期総会
女性部農薬講習会
春の農産物 その他

5 月号
NO.667



比較的天候にも恵まれた園芸市。
期間中何度も足を運んでくれる方や、遠方から毎年来ていると話してくれる方もおり、46年目の貫禄を感じます!!

■ 園芸市開催

4月29日(土)～5月5日(金)の期間、春の園芸市をJA伊達市グリーンセンターにて開催しました。

今年で46年目となる春の園芸市では組合員の方々が仕立てた苗ものを中心に、種類も豊富で人気のあるトマトを始め、キュウリ、ナス、ピーマンなどの定番野菜のほか、パンジーやビオラ、マリーゴールドなど多種多様な花苗、リンゴやサクランボといった果樹など充実した品揃えとなりました。

期間中は園芸市を心待ちにしていた近隣住民らが訪れ、賑わいを見せていました。



色鮮やかなパンジー



人気のミニトマト



定番のなす

■ 北海道酪農協会 西胆振支部定期総会

4月5日(水)、北海道酪農協会西胆振支部では第68回定期総会を開催しました。

定期総会には部員13名が出席し、佐藤哲支部長の挨拶の後、令和4年度事業報告並びに収支決算、監査報告、規約改正(案)、令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、賦課金徴収方法が審議され、全て原案通り可決されました。役員改選については以下の通りとなっています。

また、令和5年度における対策として、配合飼料価格の高騰など生産コストの急激な上昇の影響を受けている畜産・酪農経営を緊急的に支援する対策や、購入粗飼料高騰対策や消費拡大対策といった経営再建対策、飼料コストの増嵩分などを販売価格に反映しやすくするための価格転嫁を促進する環境整備を図っていくことが報告され、北海道の酪農経営者の意思を制度・施策に反映し、経営の安定と持続的発展のために行動する方針が示されました。

《役員》

支 部 長	佐藤 哲 (留任)
副 支 部 長	渡部 正昭 (留任)
監 事	山下 篤 (留任)
監 事	河野 幸雄 (留任)
青年婦人役員	佐藤 和信 (留任)



定期総会のようす

JA女性部



■ 女性部農薬講習会

4月18日(火)、JA伊達市女性部は農薬講習会を開催し部員8名が参加しました。

講師に(株)コハタの土屋拓郎氏と(株)ファイトクロームの堺教貴氏を招き、育苗時の農薬の種類と取扱いおよび生育管理における注意点について説明を受けました。

今回の講習会は100%の発芽と100%の苗の定植を目指し、育苗時の農薬について殺菌剤・殺虫剤の種類とその取扱い方、丈夫な苗を育てる為の液肥(追肥)の仕方など、播種から定植までの期間における「育苗管理」の再確認と、「品質向上」「収量拡大」による収益力強化を目的としています。

質疑応答では、農薬の混ぜ方や混ぜる順番など日頃の疑問や問題点などについて質疑が交わされ、参加した部員は「今まで当たり前になっていた農薬の使い方が間違っていたことがわかった。正しく農薬を使って強い作物を作り、収量拡大を図っていきたい。」と話されていました。



講師の堺さん



講師の土屋さん



講習を受ける部員のようす

■ 春の農産物

4月下旬からハウスで栽培されたブロッコリーやカリフラワー等の出荷が始まりました。出荷は5月中旬まで続き、5月下旬から6月上旬には露地栽培でのブロッコリーの出荷も始まります。

温暖な気候で栽培された伊達市の早出し野菜は、ブロッコリーやカリフラワーの他にもほうれん草やチンゲン菜、レタスなどの葉物野菜が道内で最も早く市場へ出荷されています。

レタスやカリフラワーを栽培している生産者は、「今年は3月の気温が高かったこともあり生育は早く作業も順調」と話されていました。



真っ白できれいなカリフラワー

生産資材課よりお知らせ

農業用ビニール・ポリ処理についてのお知らせ

下記日程にて廃プラ(塩ビ・ポリ)回収を行います。異物混入には十分注意願います。また、回収日には混雑が予想されますがご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 場 所 伊達市館山町 伊達市農協麦乾施設
2. 日 程 **6月8日(木)** 黄金・稀府・東・中央・室蘭・登別
6月9日(金) 関内・長和・有珠・室蘭・登別
3. 時 間 **9:30~11:30** **13:30~15:30**

※時間厳守でお願いします。

4. 注意事項

- ◎ 必ずフレコンバックにて搬入して下さい。
- ◎ 硬質塩ビ管、発泡スチロールは受入出来ません。
- ◎ 塩ビ・ポリの分別をしっかりと行ってください。
- ◎ 検量時には必ず立会下さい。
- ◎ 委任状が必要ですので必ず印鑑をご持参ください。

<廃プラ回収料金について>

	単価 (税別)
農業用ビニール	30円/kg
農業用ポリエチレン	15円/kg
運 賃	8円/kg



◆お問い合わせ▶グリーンセンター…TEL: 23-6115(森田・伊藤)

室蘭労働基準監督署管内における 労働災害の発生状況

室蘭労基署管内における令和5年1月1日から令和5年3月31日まで休業4日以上死傷災害が発生した件数（農業・畜産業）

局	署	市町村名	業種	労働者数	災害発生日	死亡/休業	休業見込期間	性別	経験期間	事故の型	起因物	傷病性質	傷病部位
北海道	室蘭	室蘭市	畜産業	5	令和5年1月25日	休業	2週	女性	2ヶ月	墜落、転落	はしご等	骨折	胸部
北海道	室蘭	伊達市	畜産業	12	令和5年2月11日	休業	3ヶ月	男性	6ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	トラック	切断	指
北海道	室蘭	伊達市	農業	8	令和5年2月13日	休業	6週	女性	8ヶ月	転倒	その他の環境等	骨折	すね

(安全衛生関係)

今月は熱中症対策と外国人対策についてお願いがあります。

まず熱中症対策についてです。農作業中の熱中症による死亡者は、最高気温が30度を超える日が多い7、8月だけでなく、比較的農作業がしやすい5月においてもビニールハウス内等で熱中症による死亡事故が全国で発生しております。北海道も昔に比べ本州よりも気温が高くなる時期があり、年々熱中症対策が重要となっています。農作業に当たっては、水分や塩分の補給と暑さを避けることが重要です。特に高齢者の方は、暑さを感じにくく、室内においても熱中症になることもありますので、周囲の方と声を掛け合いながら熱中症の事故防止（以下QRコード参照）に取り組んでいただきますようお願いいたします。

続いて外国人対策についてです。農畜産事業者にとって貴重な労働力である外国人技能実習生や特定技能外国人などの外国人人材に対する安全対策についてお困りのことはありませんか。外国人労働者については日本人労働者と違い言葉の壁や安全に対する認識が違っている場合が多く、それによって労働災害に遭ってしまうケースが多く認められております。厚生労働省では外国人労働者向け教育教材等を作成（以下QRコード参照）しておりますので、教育に当たりお困りなことがございましたらご活用ください。

(労災補償関係)

労災保険は本来、労働者の負傷、疾病、障害、などに対して保険給付を行う制度ですが、加入義務のない農業者の方も、一定の要件のもとに特別加入という形で任意加入できます。詳細については以下QRコード若しくは室蘭労働基準監督署労災保険担当係（電話番号0143-23-6131）にご相談ください。

(そのほか)

助成金

厚生労働省では雇用・労働分野でご活用できる助成金等を設けております。受給条件の詳細は以下QRコードからご確認ください。



令和5年度 営農計画書記載（農協に対する意見）

本年度の営農計画書作成にあたりまして、多くの組合員の皆様から貴重なご意見等を頂きありがとうございます。皆様からのご意見等に対する回答を地区別懇談会に出された意見と重複しないよう要約して報告させていただきます。

■ 共通・総務部

意見① 役立つ情報提供の発信。

回答① 社会や経済情勢が目まぐるしく変化する現在少しでも役立てられるよう広報誌やJAコネクトなどを活用し情報発信に努めてまいります。

意見② 満足と言うより各課でそれぞれの職員の仕事に尽力していると思います。

しかし、毎年同じことの繰り返しで真新しいものが少ない事が評価されづらいと思います。

大きな変化は難しいと思いますが職員のアイデアを出し合い販売購買信用すべての課での進捗を期待します。

回答② ご指摘のとおり、事業の進め方や収支改善に大きな変化が見られない状況にありますが、情勢変化により事業環境も大きく変化しております。

スピード感をもって課題や諸問題に対応するべく努めておりますが、各課の連携や対策等も不十分ですので早急に改善し、期待に応える様努力してまいります。

意見③ 職員の退職や、新人の入組不足による職員の減少が続いているが業務に支障が出て来るか、それを理由に業務を減らすことが心配される。

賃金を含め職員の待遇改善がより必要と考えます。（組合員の職員に対する処遇改善がなにより必要と思う）

回答③ 今後も新規職員獲得に向け募集を継続的に実施してまいります。

また、業務の効率化や繁忙期への応援体制をより充実し、組合員皆様の営農に支障が無いよう努めてまいります。

意見④ 一人一人の意識を高め生産性経済性知識を高める。人材育成が急務に思う。

回答④ 職員一人一人に業務目標や行動目標、能力開発目標を自ら設定させそれらの目標に取り組んでおります。

職員資格試験取得など、皆それぞれが頑張っておりますが、ご指摘ご助言も宜しくお願ひします。

意見⑤ JA伊達市の強みは何ですか？

回答⑤ 恵まれた自然環境から野菜を中心とした多種多様の農産物の生産、酪農・畜産など幅広い品目の

取扱いがあり、各販売事業施設等が充実している。生産者技術も高く新たに就農を目指すものへの技術継承の支援。畜産では人工授精師の受精卵移植等による安定的有利販売の実現などが可能。

意見⑥ 『サラリーマン移譲』という言葉は、20年も前から存在する。

しかし、JAの説明会、手続きは平日の時間内対応になっている。他業種では、説明会等は、ZOOM、Meetを使うのが当たり前になっている。

国の『働き方改革』に即した農協業務対応が必要なのはわかるが、物理的に難しい面もある。そうであればネット手続きに対応してもらいたい。

回答⑥ ご配慮が至らず大変ご迷惑をお掛けしました。内部で検討し対応にあたってまいります。

意見⑦ 減益事業の縮小・廃止の検討。

回答⑦ 収支改善を目標に実行し、経過などを踏まえ事業の在り方について検討してまいります。

意見⑧ JAコネクトで説明会や会議などの案内を配信してくるのはいいが、返信はFAXでというのは矛盾していると思う。

結局こちらで紙媒体にしてFAX返信ではデジタル化の意味がないと思うしもったいないと思う。JAコネクトが相方向の通信になれば良いと思います。

ファックスは廃止の方向で検討を。

回答⑧ JAコネクトの双方向通信については、組合員へのとりまとめ機能など今後、活用について検討していきます。

また、組合員によっては、FAXでしか対応できない方もいらっしゃいますので、ご了承ください。

意見⑨ 役職定年をなくして長く勤められる職場にしたらと思います。

回答⑨ 人員採用状況を考慮し、定年延長について今後、検討していきたいと思ひます。

■ 営農生産部

意見① 前年度に取組んだ各事業を列挙し達成度を明記すること。

また当該年度の見えるか（この様式では各部署が現在、何に重点を置いて取組んでいるのかが見えない。

細かく記載することにより組合員全員に周知できる)

回答① 本年度は、第8次振興計画の検証年度になっておりますので第9次振興計画にて事業の進捗状況を報告できればと考えております。

意見② 今後、高齢化で野菜収穫作業が困難になっていくため、さらに野菜の面積が減っていくと思われる。一方で、農家一軒あたりの経営面積は増えていくので、適正な輪作を保つためにも、ある程度広い面積をこなすことのできる品目に注力していく必要があると思う。

また、労働力の減少をカバーするために機械化を積極的に進めてほしい。

回答② 本年度からさつまいも栽培を実行しております。農協にて作業機一式（高畝マルチャー・定植機・フレームモア・収穫機）を貸出をいたしますので是非作付をお願いします。

また、スマート農業の推進など含め検討してまいります。

意見③ 各部会で資材値上がり前と後の生産費を算出して、どの程度の単価であれば経費の上昇をカバーできるのか具体的な数字を出すと市場や業者との交渉の時に役に立つのではないのでしょうか。

回答③ ありがとうございます。

肥料・燃料高騰による再生産価格など以前とは所得額が異なるので新たに作成し各市場等との交渉にあたってまいります。

意見④ 各作物の年間価格変動グラフの提供。

回答④ 野菜生産部会協議会の総会にて作成しておりますので是非担当職員にお申し付け下さい。

意見⑤ 生産履歴等をネット上でやり取りできるようにしてほしい。

回答⑤ 今後、検討してまいります。

意見⑥ 自然災害（台風、大雨）などによって被害の

状況を写真などにたよるのではなく実際にその場所に行って確認するのも良いのではないのでしょうか。

人間の目と写真の違いがわかるのではないのでしょうか。

回答⑥ 早期対応と現地確認が解らない場合などがありますので生産者の皆様にも協力をお願いしている所です。

また、各関係機関と協力をいただき現地確認も実施しております。

■ 購 買 部

意見① 要望→農薬は早期以外も還元すべきだ。（年間の量に対して）

回答① 肥料・農薬・ダンボール（発砲含む）・飼料について供給高に応じた事業分量配当をしておりますのでご理解願います。

 JAコネクト

スマホアプリ『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

※お問合わせ先

審査課 担当 高橋 TEL：23-2181



iPhone用



google用

第75回 通常総代会のご案内

◎日 時 **令和5年5月23日(火)**

受 付 **9時00分～**

開 会 **9時30分～**

◎場 所 **だて歴史の杜カルチャーセンター**

総代の皆様におかれましては、何かとお忙しい中大変恐縮ではありますが、ご出席をお待ちしております。

また、当日は総代会議案書をご持参頂けますよう、宜しくお願い致します。

2023年度 農薬散布用ドローン 空中散布請負のお知らせ

請負散布基本価格表(税込)

10aあたり	剤 型					
	粒 剤			液 剤		
散布量	0.25kg	~1.0kg	~3.0kg	0.8L	~1.6L	~3.2L
価 格	1,000円			1,000円	1,400円	1,800円

※最低基本料金16,500円(税込)

※片道150kmを超える場合に別途旅費交通費をいただく場合があります

※当社が危険と判断した場合、散布作業を中止させていただくことがあります

**農薬散布の作業時間、作業量の大幅削減を実現！
人手不足など労働力問題や適期防除を空中散布で解決！**

**資格保有のオペレーターのチームワークで
安全・安心な作業を行います！**

※上記の請負散布基本価格表には農薬代が含まれていません。
請負散布の農薬購入に関してはJAグリーンセンターへ必ずお問い合わせください。

《相談窓口・お問い合わせ》

JA伊達市 購買部生産資材課(JAグリーンセンター) TEL:23-6115

生産者の皆様へ

- ・パートさん・アルバイトさん探しがかどらず農作業に困っていませんか？
- ・農業は天候による中止が多く農繁期のみ人手が必要となります。安定した長期の仕事を求める方々に手伝っていただくことは厳しい業界です。

まずは自らパートさんを探してみましょう
それでもダメならこのアプリを使うしかありません

その仕事を手伝ってくれる方は
すぐ近くにたくさんいます



1日バイトアプリ デイワーク
 daywork

利用方法

ダウンロード方法

App StoreまたはGoogle Playにアクセスしdayworkで検索するか、
カメラでQRコードを読み取り、表示されたアプリをダウンロードしてください。

iPhone/iPad



Android



ログイン方法

アプリを起動したら画面下にあるマイページのボタンを押します。
開いたページを下にスクロールすると組合員専用ログインフォームがあります。
JAから渡されたアカウント情報を入力し、ログインを押すとログインできます。

ログインフォーム

ログインボタン

マイページ



使い方のコツ：自分がされて嫌なことは求職者にもしない

※細かい使い方はアプリをご覧ください。

dayworkは農業の労働力不足問題を根本的に解決し、生産者の作付面積の調整、規模拡大による所得向上に貢献できるようサービスの改善に全力で取り組んでまいります。

本サービスが利用可能かどうか所属するJAにお問い合わせください。まだ開始されていない場合サービス運営会社からJAに連絡させていただきます。不明点はサービス運営会社までお問い合わせください。 ☎ 0467-84-9459

 ×  daywork



終身年金で
安心!

農 知 業 っ 者 て 年 得 金 す る

農業者の方は、国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」に加入して
安心で豊かな老後を!

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

ポイント

2

一定の要件を満たす方には、
月額最大1万円の保険料の国庫補助

ポイント

3

保険料は全額社会保険料控除の対象
など、生涯を通じて大きな節税効果!

詳しくは…

<https://www.nounen.go.jp>



ポイント

1の説明

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

●年間60日以上農業に従事している、国民年金の第1号被保険者（保険料免除者を除く。）である20歳以上60歳未満の方又は60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者が加入できます。

- 高齢農家世帯の家計費は、月額約22万円というデータがあります。
国民年金の支給額は、最大で一人あたり月額約6万5千円。これを夫婦でもらっても毎月約10万円の赤字ですので、国民年金の上乗せ年金として農業者年金に加入しましょう。
- 農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い。
- 農業者年金は、経営状況や老後の生活設計に応じて、保険料を加入後いつでも月2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）～6万7千円の範囲で、千円単位で変更でき、年払いもできます。また、途中で脱退・再加入もできます。なお、脱退した場合、払った保険料は年金を受給するまで運用し続け、加入期間に関わらず、年金として受給できます。（脱退一時金はありません。）

試算表 農業者年金に加入すれば～ 農業者年金の受給額の試算

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料納付総額	年金額（年額）		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	58万円	49万円	1,243万円	1,315万円
		2万円	960万円	76万円	64万円	1,635万円	1,730万円
30歳	30年	1万円	660万円	45万円	38万円	968万円	1,024万円
		2万円	720万円	50万円	43万円	1,085万円	1,148万円
40歳	20年	2万円	480万円	30万円	25万円	642万円	680万円
50歳	10年	2万円	240万円	13万円	11万円	286万円	303万円

※上のケースは、通常加入で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.30%となった場合の試算です。受給総額は65歳の時点で想定される平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の19年間（令和2年度まで）の運用利回りの平均は、年率2.97%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和4年度は0.30%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

※保険料額1万円のケースについては、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は月額2万円で加入した場合です。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として遺族が受け取れます。※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント

2の説明

一定の要件を満たす方には、 保険料の国庫補助があります。

認定農業者又は認定就農者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算で最大216万円）があります。

この国庫補助は、経営継承など一定の要件を満たせば、将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期についての年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3の説明

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。

- 支払った保険料は、同一生計の家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。（支払った保険料の15%～30%程度が節税）。
- 保険料の運用益が非課税
- 将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用されます。
- 死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員 ●企画調整室
TEL：03-3502-3199 TEL：03-3502-3942

2022.5



令和5年度
の活動

▶第43回理事会…令和5年4月14日(金)

- 第1号 監査報告書について
- 第2号 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第3号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
- 第4号 剰余金処分案に関する事業分量配当金の算定基準について
- 第5号 労働保険事務組合の令和4年度徴収・納付状況の報告について
- 第6号 第75回通常総代会議案について
- 第7号 第75回通常総代会における議決権行使書面の取扱いについて

▶第44回理事会…令和5年4月28日(金)

- 第1号 令和5年度信用供与の限度額及び貸出利率の限度について
- 第2号 令和4年度決算監事監査に対する回答について
- 第3号 令和5年度余裕金運用について
- 第4号 給与規程の一部改正について
- 第5号 令和5年度職員の給与昇給について
- 第6号 令和6年度新卒採用者初任給について
- 第7号 生乳集荷代金に係る運賃値上げについて
- 第8号 農業用作業用機械貸付業務規程(案)について
- 第9号 職制規程並びにJA伊達市特別条件緩和資金貸付要領の一部改正について
- 第10号 令和5年度役員賠償責任保険契約の締結について
- 第11号 出資金の持分譲渡について



未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.67

令和5年度 国営事業について

今年度は大平地区で6箇所、上館山地区で2箇所の設計業務を進めていきます。

今後の話し合いを円滑に進めていくことを目的に2月から各工区の“事前地区調整会議”を行っています。会議では、ほ場の状況や課題を関係耕作者から伺っているほか、国営事業における設計業務や工事の進め方や、負担金支払い等の基本的なルールについて説明しています。

なお、工事については大平地区の2箇所、上館山地区の1箇所を実施します。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市 経済環境部 農地整備課内)
TEL0142-82-6161 (直通)

